

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月8日（火）

2 確認箇所

- ・ 1号機及び2号機原子炉建屋周辺（図1）
- ・ 共用プール建屋周辺（図1）

3 確認項目

- （1） 1号機及び2号機燃料取り出しに向けた工事の状況
- （2） 共用プール建屋雨水排水設備改修の状況

4 確認結果の概要

（1） 1号機及び2号機燃料取り出しに向けた工事の状況

原子炉建屋上部にある使用済燃料プールには、発電に使用された使用済燃料等が貯蔵されている。東京電力では、廃炉作業を進めるにあたり、この使用済燃料等によるリスクを低減するため、原子炉建屋からの使用済燃料取り出し作業を進めている。

今回は、1号機及び2号機原子炉建屋からの燃料取り出しに向けた工事の状況について確認を行った。（前回確認：令和6年5月7日）

- ・ 1号機原子炉建屋への大型カバーの設置は、令和7年夏頃の完了を目標として進められていた。しかし、作業員の被ばく抑制対策、悪天候やクレーンの不具合による作業中止等により工程が遅延し、完了時期が令和7年度内に延期された。
- ・ 1号機原子炉建屋北側では、大型カバーの基礎部分であるボックスリングの設置が進められていた。また、建屋西側では外周鉄骨の撤去が完了していた。（写真1）
- ・ 2号機原子炉建屋では、今年5月30日に建屋南側に設置された燃料取り出し用構台内に燃料取扱設備が配設され、令和8年度の燃料取り出し作業開始に向け設置作業が進められている。
- ・ 2号機原子炉建屋の燃料取り出し用構台は外装材パネルで覆われており、地上から燃料取扱設備を確認することはできなかった。（写真2）
- ・ 2号機原子炉建屋西側では、鉄板敷設によるフェーシング工事が行われていた。現場には1時間毎に計測された暑さ指数（WBGT）が表示されており、熱中症予防対策が講じられていた。（写真3）

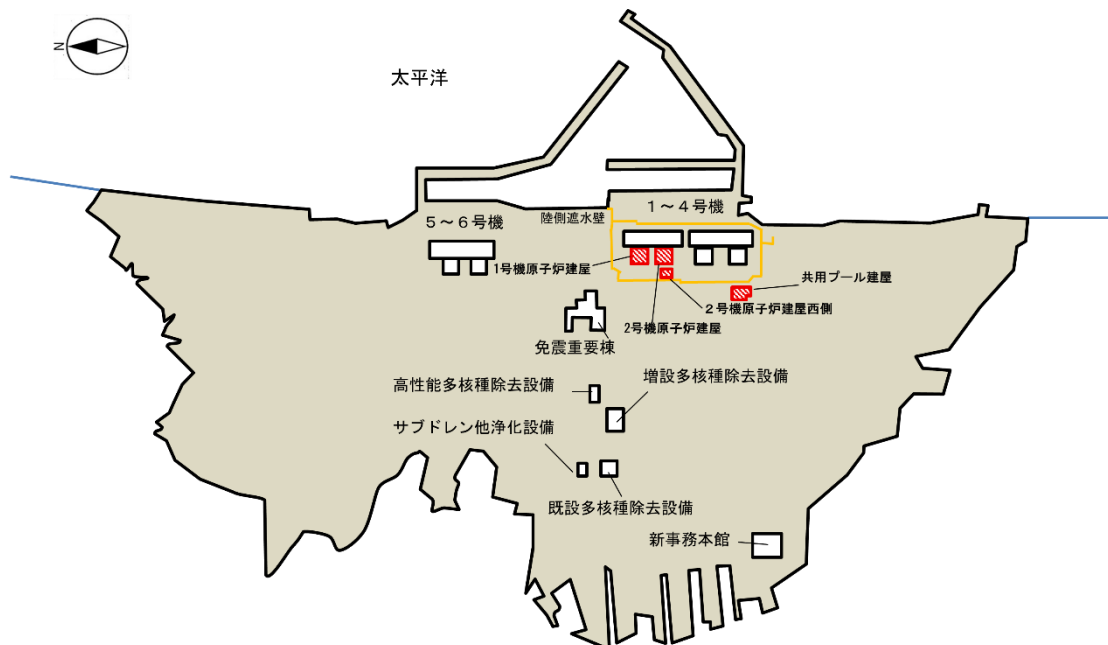
（2） 共用プール建屋雨水排水設備改修の状況

東京電力は、令和3年度に発生した陸側遮水壁測温管温度上昇事象について、陸側遮水壁設備やその周辺の外観点検や掘削による原因調査を実施

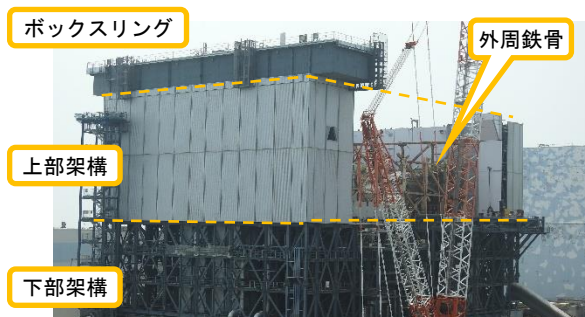
した。調査の結果、共用プール建屋の雨水排水設備の地下側溝に損傷があり、漏出した雨水排水が地中に浸透し陸側遮水壁に影響を及ぼす可能性が認められた。このため、令和4年11月より雨水排水設備の改修工事が実施され、令和5年3月に完了している。

今回は、雨水排水設備及び温度上昇が確認された測温管について、状況を確認した。（前回確認：令和6年5月10日）

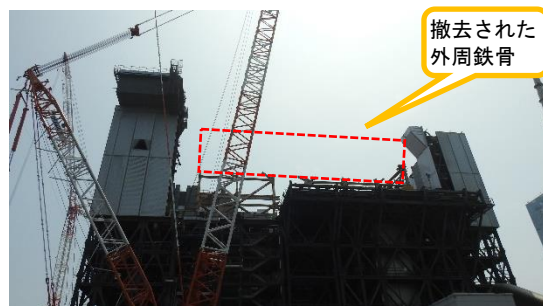
- ・ 雨水排水設備は共用プールの東側壁面に設置され、南側壁面から排水路に接続されていた。確認した範囲において、漏水の跡は認められなかった。（写真4）
- ・ 確認した範囲において、温度が上昇した測温管及び周辺の凍結管に異常はなかった。（写真5）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1①）1号機原子炉建屋北側



（写真1②）1号機原子炉建屋西側



(写真 2 ①) 2号機原子炉建屋西側



(写真 2 ②) 2号機原子炉建屋東側



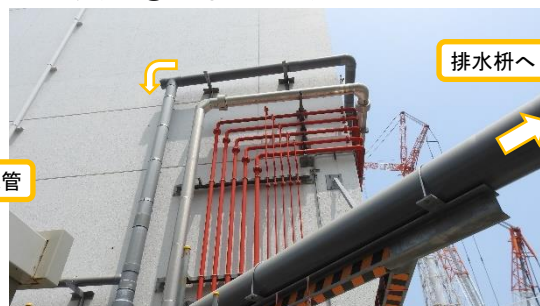
(写真 3 ①) フェーシング工事の状況



(写真 3 ②) 暑さ指数の掲示



(写真 4 ①) 共用プール建屋東側



(写真 4 ②) 共用プール建屋南側



(写真 4 ③) 共用プール建屋南側



(写真 5 ①) 温度が上昇した測温管



(写真 5 ②) 測温管周辺の凍結管の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。